

令和3年度学校評価結果報告書

桶川市立桶川東中学校
校長 矢澤 等

1 目指す学校像

「信頼される学校 活力のある学校 安心安全な学校」

～生徒の持ち味を伸ばし、地域と協働して愛校心を高める～

2 評価結果

領域	No.	評価項目	自己評価		学校関係者評価
			評価	説明及び学校の考え	
組織・運営	1	学校教育目標の達成に向けて組織的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標のもと、学力向上や生徒の活力を生かした行事の運営等を行うことができている。 分掌主任だけではなく、分掌担当と協働して取り組めるように、協働意識を今まで以上に高める。 	各学年主任を中心とした、縦と横のつながりや連携が行われている様子が見受けられる。引き続き取り組んでほしい。
	2	PDCAサイクルのもと学級経営や教科経営・分掌経営にあたっている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学年主任、分掌主任を中心に報告連絡相談が適切に行われ、管理職への指示を仰ぎながら個々の生徒への対応ができている。 生徒が評価しやすい学級目標にして学期で評価できると良い。 	
学習指導	3	教育指導計画に基づき、授業改善に努め、基礎学力をつけている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 各教科とも教育指導計画に基づき、授業を行うことができているが、人員不足により教員に余裕のない状況がある。 チャレンジテストは問題のデータ化し共有する。問題形式を統一するなど検討をする。また、以前実施していたように、教え合い、学び合いがあると良い。 	授業はどのクラスも落ち着いた雰囲気であった。「総合的な学習の時間」はグループディスカッションが活発であった。
	4	生徒が自主的・実践的な活動ができるように諸活動を通して指導している。	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であるが、工夫を行って生徒が自主的・実践的な活動ができるようにしている。 行事等がコロナのため縮小や中止となっているが以前のような形になるとよい。 	
	5	授業規律を確立し、落ち着いた雰囲気の中で授業が展開されている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律を確立することで、場に応じた行動や態度をとれる生徒が増えてきた。 チャイム着席等を委員会が呼びかけ、授業規律を守る雰囲気ができている。 	
生徒指導・教育相談	6	いじめをすることなく、生徒相互に尊重し合う学校生活を送れるような環境を作っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 道徳や特別活動を通して、集団の一員として行動できるような素地を育てていく。 インターネットトラブルや人間関係のトラブルを未然に防止できるように指導していく。 	上級生や生徒会、各委員長などがあいさつや声かけなど積極的に行動し、呼びかけてほしい。また、保護者、教員、地域の方々においても実践していくことが望ましい。
	7	友達や教職員・来校者に進んで挨拶ができるように指導し、成果を上げている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の意識が低い生徒が多い。道徳や日常の指導をしていく。また、家庭の協力が必要である。 生徒会が挨拶運動等で頑張っている。一部だけでなく、学校全体に広めていく。 	
	8	生徒が身の整理整頓や清掃活動に努めるよう指導し、効果を上げている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ロッカーや机の中、カバンの整頓等ができるようにさらに指導していく。 清掃場所に対して、人員不足により目が行き届かない。 簡単清掃の統一ができるとよい。 	

健康教育	9	生徒の体力向上に向け、 体育や部活動などに積極的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体育委員会や保健委員会の活動の活性化から、体力向上への意識啓発になっている。 ・生徒は部活動に積極的に取り組むが、制限により充実した活動にできていない。 	コロナ禍でありながら、各部とも工夫しながら活動されており、評価できる。
	10-1	栄養バランスのとれた食事と生活リズムの大切さを積極的に理解させている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の掲示で食育への意識啓発は進んでいる。給食委員会の無私語準備や感謝の集い等の活動もよい。 ・生活リズム、特に睡眠に関して家庭と協力し、指導をしていく。 	
	10-2	コロナ禍での対応・課題	A	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防に対する意識を高めていく。 ・これまでと同様に手洗い・うがい・健康チェックシート等の提出を行い、未然に防止できるようにする。 	
学習環境	11	落ち着いた学習環境づくりを組織的に進めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の掲示教育がしっかりできている。 ・天井の雨漏り等の修繕が必要である。 ・定期テストの配付、監督、回収、返却について、教員のマニュアルがあるとよい。 	映像機器は更に充実させる
	12	教材備品を充実整備し、 学習環境の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT端末により、充実してきている。さらに、教員が活用できるような研修をしていく。 ・リモート配信の機会が多いので、見やすく、聞きやすくなる機材が必要である。 	
教職員の 資質向上	13	教職員の指導力向上に計画的・組織的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校課題研究を推進委員会の定期的に行い推進していく。 ・生徒の多様性を重視し、生徒理解を深められるような研修を行って行く。 	
	14	教職員の服務規律の確保に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の言動、モラル（マナー）などの確認は継続して必要である。 ・倫理確立委員会を通して、教職員事故防止等に努めている。 ・人権研修で人権の基本的な理解を進めることができた。 	
家庭・ 地域との 連携	15	学校だよりや学年・学級通信・ホームページ等で、 教育活動の様子や成果・課題について情報提供している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・HP更新、学校だより、学年通信等で教育活動の様子を情報提供できている ・生徒、教員、保護者を交えた環境整備作業は、1回だけでなく実施できるとよい。 	
	16	PTA活動や地域活動を重視し、 保護者、地域と連携・協力している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで学校応援団の回数が少なくなってしまったが保護者、地域の協力をえて活動できた。 ・PTA活動で教員と保護者の連携をさらにしていく。 	

*評価項目については各学校で領域ごとに項目を2～3設定する。